

## 理事長報告

大阪梅田ライオンズクラブ様

2023/6/6 チャリティーコンサートの共済助成金贈呈式参加



### 《挨拶》

社会福祉法人 大阪府肢体不自由者協会 理事長 野間田と申します。

この度は、多大なるご寄付をいただき本当にありがとうございます。社会参加の事業など有効に活用させていただきます。

実は、私事で恐縮なのですが、私は、職員にあいさつする機会があると、「5代目理事長の」野間田ですとあえて付け加えるようにしています。私は数えて5代目の理事長になります。あえて5代目と付け加えるのは、今まで、法人を健全に育ててくださった先輩諸氏の皆様にたいする敬意であり、これから5代目、6代目と続いていく、法人ののれんを守っていく、その5代目としての責任を自覚するためのものです。

さて、私の記憶が正しければ、大阪梅田ライオンズクラブ様の会長は、3代続けて女性の会長です。2年前が中尾貴子会長、昨年が安藤和子会長、そして今年が小西恵理会長ということですので。この梅田の地で、女性の会長ということで、私は、常々思っていたことがあります。それは何かと言いますと、高田郁さんという歴史小説家がおられます。代表作に「みをつくし料理帖」や「商い世伝金と銀」があります。読まれた方も多いのではないかと思います。この物語は、いずれも、大阪天満と江戸を舞台にした小説です。天満橋や大阪天満宮が何度も登場します。そして、主人公が女性です。さらに、みをつくし料理帖の方は、美緒という主人公が女料理人として店持ちになっていく物語であり、商い世伝金と銀の方は、幸という主人公が呉服店の店長となつてのれんを守っていくという物語です。

江戸時代は、女性が店主になるには、大きな壁があったようで、この女性主人公が、その壁を乗り越えていくという物語です。梅田で女性で会長と3拍子そろっていて、まさに現代の美緒や幸が大阪府梅田ライオンズクラブ様に、いらっしゃるんだと、思っていた次第であります。

今は、会社や組織の成長にとって、ジェンダーバラスなどの多様性の尊重ということが、とても大切な要素として注目されるようになりました。そういう意味では、大阪梅田ライオンズクラブ様の組織というのは、とても素晴らしい組織だというふうに思います。

どうぞ、これからも大阪梅田ライオンズクラブ様と大阪府肢体不自由者協会が健全に成長し、末永く共に歩んでいけることを願っております。



## 大阪梅田ライオンズクラブ様のご紹介

大阪梅田ライオンズクラブ様の歴史は、大変古く 1958 年 9 月 16 日の結成、1959 年 1 月 20 日の認証となっています。

「地球兄弟」のチャリティーコンサートにご招待いただき、その収益金を我々の法人にご寄付いただいています。他に地域清掃活動、献血活動、社会福祉協議会へのフードパントリー・ひとり親応援など様々な福祉的な活動を実施されています。

[大阪梅田ライオンズクラブ \(Osaka Umeda Lions Club\) - Lions e-Clubhouse](#)